

「消防団の力向上モデル事業」 事業紹介

事業名 デジタル化事業

自治体名

長野県青木村

消防団名

青木村消防団

1 事業の目的・必要性

災害発生時に消防団員が速やかに災害拠点を把握し、情報を共有することで迅速な災害対応と団員の負担軽減を図るとともに、出勤報酬支給等に伴う災害出勤毎の出勤時間管理・事務を簡略化する。

2 事業内容

消防団活動支援システム（コミュたす）の導入

- ・導入説明会の実施
- ・訓練での活用
- ・有事の際における使用

活動支援システムで可能なこと

- ・発災情報が個人のスマートフォンに通知され出勤方法を回答・共有できる。災害場所を地図上から確認ができ、ナビゲーションシステムが使用できる
- ・団員毎の活動時間の把握ができる→出勤報酬申請の簡略化。

3 事業成果

実際の発災通報があった時のイメージ図

① 個人のスマホ(LINE)に通知が届き、出勤方法を選択し出勤する

② ③ 発災場所へのナビゲーションシステムや火点付近の水利地図も確認できます。LINEを使用しているため、自分でコメントを入力することも可能です。

④ 鎮火報がでた後、全ての活動終了したら「個人の活動終了」を選択する

導入したことによるメリット

- ・今までは幹部から発災情報の連絡を受けて出勤していたが、全団員瞬時に発災情報が把握できるようになった。
- ・引越してきた土地勘のない人が、ナビゲーションシステムがあることにより、道に迷わず発災場所に駆けつけることができた。
- ・幹部が今どの団員が出動しているか把握がしやすくなった。
- ・特別なアプリを導入するわけではなく、LINEでシステムが使用できる

4 目標達成状況

指標	単位	当初目標	実績値	備考
説明会	回数	3	4	参加者のうち、複数回出席者は複数カウント
参加者	人数	60	100	
訓練の回数	回数	1	1	

5 その他参考情報

第1回説明会（幹部向け）

第2回説明会(一般団員向け)